

都市再生整備計画 事後評価シート

い わ た し ん え き し ゅ う へ ん
磐田新駅周辺地区

令和4年3月

し ず お か け ん い わ た し
静岡県 磐田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	磐田市		地区名	磐田新駅周辺			面積	130ha		
交付期間	平成29年度～令和3年度		事後評価実施時期	令和3年度		交付対象事業費	946百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【公園】新貝公園 【地域生活基盤施設】自転車駐輪場(新駅北口) 【地域生活基盤施設】ポケットパーク 【高質空間形成施設】(都)三ヶ野新貝2号線 【高質空間形成施設】(都)磐田袋井線 【高質空間形成施設】(都)東部台地線 【高質空間形成施設】(都)新駅南口線 【高質空間形成施設】市道新貝37号線 【高質空間形成施設】新駅北口広場 【高質空間形成施設】新駅南口広場										
			提案事業	【地域創造支援事業】普通河川改修(倉西川) 【事業活用調査】事業効果分析調査 【まちづくり活動推進事業】ワークショップ									
			事業名										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【高質空間形成施設】鎌田区画整理地内 区8-2号線				土地区画整理事業の施工順序見直しによる削除			影響なし			
		提案事業	なし				-			-			
		削除/追加の理由	-										
	新たに追加した事業	基幹事業	①【地域生活基盤施設】自転車駐輪場(新駅南口) ②【地域生活基盤施設】(都)磐田新駅南北連絡線情報表示板 ③【地域生活基盤施設】案内板 ④【高質空間形成施設】市道西之島岩井線 ⑤【高質空間形成施設】バリアフリー対応公衆トイレ				①利用者予測により、駅利用者の快適性を強化するため、南口駐輪場、駐輪場建屋を追加 ②当初計画している事業とともに相乗効果を高め目標の達成を確実にするため、情報表示板を追加 ③当初計画している事業とともに相乗効果を高め目標の達成を確実にするため、自由通路案内サイン、案内看板、案内サインを追加 ④当初計画している事業とともに相乗効果を高め目標の達成を確実にするため、照明灯一体型バナーポールを追加 ⑤当初計画している事業とともに相乗効果を高め目標の達成を確実にするため、バリアフリー対応公衆トイレ(北口、南口)を追加			影響なし			
			提案事業	【地域創造支援事業】防犯灯(防犯カメラ)				地域の安全・安心を高めることで目標の達成を確実にするため、防犯カメラを追加			影響なし		
			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	-									
	交付期間の変更	当初変更	平成29年度～令和3年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	新駅開設に伴う鉄道利用者数	人	1,000 (開業時見込み値)	H28	1,500	R3	708 (R2)	1,287	△	あり	新駅(御厨駅)や周辺施設が整備されたものの、コロナ禍による通勤・通学の減少やイベント等の開催中止により鉄道利用者数が伸びなかったと考えられる。	R4年度
	指標2	地区内の定住化	戸	390	H28	410	R3	-	601	○	あり	新駅(御厨駅)のオープンによる交通利便性の向上、土地区画整理事業における道路や公園などの整備による住環境の向上により、定住化が進んだものと考えられる。	-
	指標3	地区周辺の住みやすさの満足度	%	55.4	H28	60.0	R3	-	46.1	×	あり	地区周辺の住民のうち「ずっと住み続けたい」人の割合は微減したものの、「当面の間、住み続けたい」人を含めると継続した居住意向がある人の割合は増加しており、新駅(御厨駅)アクセス道路への照明・案内板の設置や駐輪場の設置、公園の整備等による利便性や快適性向上の効果が出ているものと考えられる。	R4年度
										なし	●		

	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1	磐田市で「住まいの環境が 良好」であると思う人の割合	%	24.9	H28			-	46.8		新駅(御厨駅)のオープンによる交通利便性の向上、土地区画整理事業における道路や公園などの整備による住環境の向上により、「住まいの環境」が良好と思う人の割合が増加したと考えられる。	R4年度	
	その他の 数値指標2							-					
	その他の 数値指標3								-				
4) 定性的な効果 発現状況	・土地区画整理事業の推進や新駅のオープンをきっかけに、市民有志による「御厨駅前のんびりマルシェ」が御厨駅北口の市有地で2020年8月より定期的に開催され、駅利用者や家族連れの滞留スペースとして賑わいを見せている。												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	指標1(新駅開設に伴う鉄道利用者数)の確認 ・社会資本総合整備計画の中間評価と合わせ実施し、新型コロナウイルス感染拡大が指標に影響していることを認知することができた。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	今後も定期的にモニタリングを実施する。				
	住民参加 プロセス	まちづくりワークショップ ・新駅周辺の道路や駅前広場の整備に関するワークショップを実施し、住民の意見を各施設のデザインなどに反映した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	参加者の提案・意見をもとに整備の内容を決定、誰もが利用しやすいまちを目指し、整備を進める。				
	持続的なまちづくり 体制の構築	磐田市民の有志による新駅(御厨駅)迄のマルシェの開催 ・磐田市東部の地域活性化を目的に磐田市民の有志が集まり、駅前市有地等を利用した店の出店やフリーマーケットなどのマルシェが開催された。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	駅前市有地の貸与など、定期的な開催に繋がるよう支援を行う。				

様式2-2 地区の概要

磐田新駅周辺地区(静岡県磐田市) 都市再生整備計画の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 新駅を核に、「労働・住環境・交流」を兼ね備えた総合力の高いコンパクトなまちづくり 目標: 交流人口の増加 目標: 定住化の促進 目標: 誰もが住んでよかったと思えるまちづくり		新駅開設に伴う鉄道利用者数	人	1,000 (開業時見込み値)	H28	1,500	R3	1,287	R2
		地区内の定住化	戸	390	H28	410	R3	601	R3
		地区周辺の住みやすさの満足度	%	55.4	H28	60.0	R3	46.1	R2
まちの課題の変化 ・磐田市新貝土地区画整理事業により基盤整備が行われたことで、駅へのアクセスがよくなり、新駅を中心に交通利便性が向上した。 ・整備後の地区内市有地において市民による地域マルシェが開催されるなど、魅力ある交流の場の形成が図られた。 ・磐田新駅(御厨駅)からヤマハスタジアムを結ぶ道路に歩道照明灯や案内板を設置し、施設間を安全かつ快適に移動する動線が確保された。 ・北口広場、南口広場、アクセス道路においてバリアフリーに配慮した歩道やバリアフリー対応公衆トイレが完成し、誰もが利用しやすいまちの充実が図られた。		今後のまちづくりの方策(改善策を含む) 【効果を持続させるために行う方策】 定住化の促進 ・引き続き人口の定着を図るため、土地区画整理事業の未整備箇所の事業を推進する。 新たに整備された新駅周辺施設の維持管理 ・快適で魅力的な住環境を維持するため、施設の定期点検や住民参加による維持管理体制を整える。 【改善策】 新駅(御厨駅)周辺の魅力づくりの推進 ・基盤整備された駅北側は、市の都市拠点として相応しく、住環境の向上を図ることが可能な施設の誘導を図る。 ・駅南側で施行中の土地区画整理事業地内に新たな土地活用が可能な宅地を生み出し、利活用を図る。 ・住民主体のイベントなど、魅力あるまちづくり活動への支援を実施する。							